山梨県 Yamanashi Prefecture

Press Release

YAMANASHI

令和8年11月18日
山梨県県土整備部
主幹　佐藤　渉
電話 055-223-1668（内線 7080）

報道関係者各位

市町村のインフラ維持管理を支援する新組織「やまなし市町村インフラメンテナンス支援センター」を設立します

山梨県、山梨大学及び山梨県建設技術センターは、市町村のインフラ維持管理を支援する連携組織「やまなし市町村インフラメンテナンス支援センター　（Y-MIMS）」を、令和８年１１月１８日（水）に設立します。

県内市町村では、インフラ施設の老朽化が進行する一方で、技術職員の不足による維持管理技術・ノウハウの低下、点検業務の増加に伴う日常業務との両立の困難化など維持管理体制の確保が課題となっています。また、施設の更新費用の増加による将来的な財政負担への懸念などの課題を抱えています。

このような状況を踏まえ、本センターでは、三者がそれぞれの専門性や知見を生かして連携し、市町村からのインフラ維持管理に関する相談を一元的に受け付け、総合的な支援を行います。

これにより、インフラの安全性・信頼性の向上、維持管理の質の向上、職員負担の軽減及び計画的な維持更新による財政負担の軽減・平準化を図り、持続可能なインフラメンテナンス体制の構築を目指します。

なお、本センターは、関係機関の連携により運営する支援組織であり、設立に伴う式典や開所行事は実施しません。

やまなし市町村インフラメンテナンス支援センターの概要

略称 **Y-MIMS（ワイ・ミムズ）**

Yamanashi Municipal Infrastructure Maintenance Support Center

国立大学法人**山梨大学**、**山梨県**、公益社団法人**山梨県建設技術センター**が連携し、
市町村のインフラ維持管理の相談を一元的に受け付け、必要な支援を総合的に提供

現状や課題

- ▲ 橋梁・道路・下水道施設などの**老朽化の急速な進行**
- ▲ 技術系職員の不足による**維持管理技術・ノウハウの低下**
- ▲ 点検業務の増加に伴う**日常業務との両立の困難化**
- ▲ 更新費用の増加による**将来的な財政負担への懸念**　等

支援センターの活用により目指す姿

- 予防保全の推進によるインフラの**安全性・信頼性の向上**
- 専門的知識・ノウハウの活用による**維持管理の質の向上**
- 点検業務の効率化等による**職員負担の軽減**
- 計画的な維持更新による**財政負担の軽減・平準化**　等

支援内容

点検・診断・対策
・各種施設(橋梁・道路・河川・上下水道等）の点検・診断・対策立案支援

技術相談、助言
・技術相談、手引き作成支援、発注・契約方式の助言

技術者研修等企画・開催
・技術者研修・勉強会・ワークショップの企画・開催

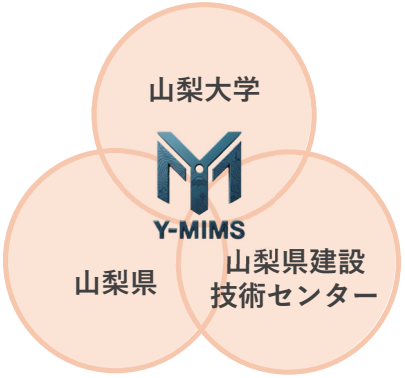
アセットマネジメント
・台帳整備、LCC評価、更新計画・トリアージ(優先度付け)

デジタル技術導入
・デジタル技術(GIS、BIM/CIM、AI解析、画像診断等)の導入支援

学官民連携モデル構築
・研究開発・実証、学官民連携モデルの構築

等

支援センターの枠組み



山梨大学 大学院総合研究部附属 地域防災・マネジメント 研究センター	学術的知見 調査研究 人材育成
山梨県 県土整備部	行政施策との連携 広域的な課題把握
山梨県建設 技術センター	技術的支援 研修等の実施支援 事務局運営

先行取組事例



技術者研修


橋梁点検支援


ワークショップ
（塗装イベント）